

法人会会員のみなさまに

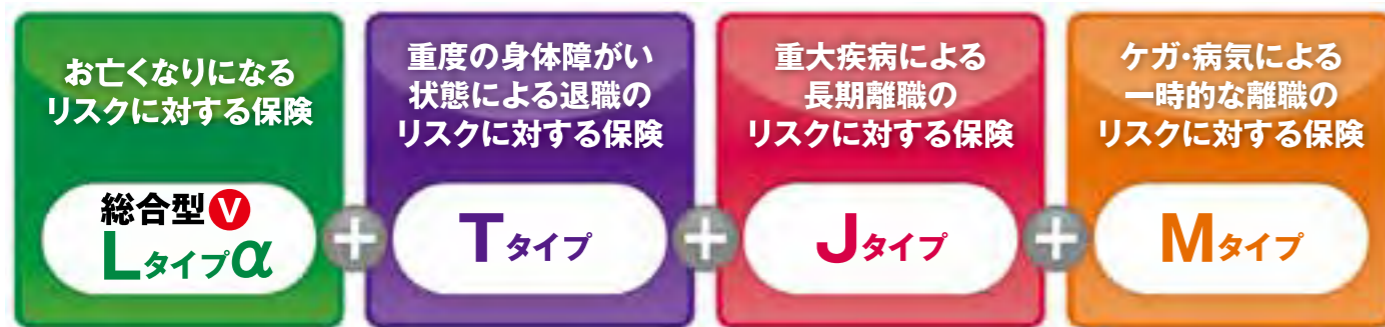
経営者大型総合保障制度

生命保険と損害保険の組み合わせにより、万一の場合はもちろん、働けなくなった場合のリスクに備えるための各種制度商品をご用意しています。

さらに、2019年7月から総合型 α タイプを新発売いたしましたので「保険金額」「保険期間」に加えて「保険料・解約払戻金のバランス」をオーダーメイドで設定いただけるようになりました。



〈会社をお守りするトータル保障プラン〉



◎上記商品の正式名称は次のとおりです。

総合型 α タイプ：大同生命の無配当歳満期定期保険（解約払戻金抑制割合指定型）とAIG損保のベーシック傷害保険

Tタイプ：大同生命の無配当就業障がい保障保険（身体障がい者手帳連動・無解約払戻金型）

Jタイプ：大同生命の無配当重大疾病保障保険（無解約払戻金型）

Mタイプ：大同生命の無配当総合医療保険（保険料払込中無解約払戻金型）

◎ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書[契約概要]」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。

◎記載は2020年2月現在の内容です。将来変更となる可能性があります。

引受保険会社

 **大同生命保険株式会社**

広島支社福山営業所/広島県福山市霞町1-2-11（太陽生命福山ビル6F）
TEL 084-922-0399

 **AIG損害保険株式会社**

福山支社/広島県福山市紅葉町2-27（日本生命福山ビル）
TEL 084-922-1477

F-2019-1021（2020年2月26日）
20-073001



法人

ふちゅう

2023 / 新春 第77号



亀山 秀景画伯 素盞鳴神社 奉納絵馬

公益社団法人 府中法人会

府中市元町 445-1 府中商工会議所会館 2F
Tel.(0847)46-3343 Fax.(0847)45-0701
URL www.hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/fuchu/

新年のご挨拶



公益社団法人 府中法人会
会長 貝原 潤司

新年あけましておめでとうございます。

昨年も7月から9月のコロナ感染第7波に見舞われ、少なからず法人会活動も制約をうけ、事業計画は昨年よりは改善され、当初予定の90%程度の消化率となりました。加えて2月にはロシアによるウクライナ侵攻が起りそれが今日まで続き、資源高による物価高騰などによりコロナ禍から立ち上がろうとする企業マインドを冷え込ませ社会・経済の停滞となりました。

会員加入状況を見ましても、解散・廃業等の脱会が新規加入を上回りましたが、加入率はかろうじて70%を維持する結果となりました。福利厚生関係の保険加入促進活動も行動制約等もあり目標未達の結果となりました。

令和5年度は国税庁の進めています、デジタルを活用した、国税に関する手続きや業務の在り方の根本的な見直しを行うデジタル・トランスフォーメーション(DX)戦略の諸施策が実行に移される年です。従前より取り組んでいます「法人税等の申告のe-Tax義務化」、「自宅等からのe-Taxを利用した確定申告」、「マイナンバーカードの取得促進」等に加え、令和5年には「適格請求書等保存方式導入」が10月に義務付けられ、追ってデジタル処理も求められます。令和6年1月には「改正電子帳簿保存法」も施行されます。府中法人会としても府中税務署と連携を密に取りながら皆様に理解・研修の場を設け対応してゆきたいと思えます。

本年も新型コロナウイルスの感染の波はあるとの想定のもと、各事業活動の推進、会員増強活動、福利厚生関係の保険加入率の向上等を皆様の知恵を拝借しながら進めてまいりたいと思えます。ご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

年頭のご挨拶



府中税務署
署長 田中 薫

令和5年の年頭に当たり公益社団法人府中法人会の皆様方に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

貝原会長をはじめ会員の皆様方には、日頃から税務行政に対し、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、研修会等の開催、租税教室への講師派遣、絵はがきコンクールなど税知識の普及と税の啓発活動に積極的に取り組まれています。

その中でも、会員企業でのマイナンバーカード出張申請会は、全国の法人会の先駆けであり、昨年の国税局所管部会員企業における出張申請会では、小野府中市長の会場視察やマスコミ取材があるなど、市長からは法人会の活動に対して感謝の意を表されました。

更に、長年にわたり法人会や各関係民間団体による租税教室などにより応募された多数の租税作品の中には、各団体長表彰だけでなく国税庁長官や国税局長から表彰された学校や作品がありました。これら法人会の各種活動は、貝原会長をはじめ役員の皆様方、会員企業の皆様方の御尽力の賜物であり、心から敬意を表する次第です。引き続きよろしく願いいたします。

間もなく令和4年分の所得税等の確定申告の時期を迎えます。会員企業の役員や従業員の方で確定申告をされる方は、ご自宅からスマホやパソコンを利用したe-Taxによる申告を是非ともよろしく願いいたします。

また、消費税インボイス制度のインボイス発行事業者の登録を申請される会員企業や取引先の皆様は、早期の申請をお願いします。

結びに、新しい年が府中法人会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝と御多幸につながる良い年でありますよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

おめでとう ございます

令和4年度 納税表彰

令和4年11月16日(水)府中商工会議所会館にて納税表彰式が3年ぶりに一堂に会して行われ、府中法人会から5名が選ばれました。

【納税表彰とは】

国税の申告と納税及び租税教室等に関して、団体の活動等を通じて功績顕著な個人または団体を顕彰することにより、広く納税思想の高揚に資することを目的とするものです。



広島国税局長 表彰



常任理事
佐藤 英之 様
株式会社 佐藤石工苑



府中税務署長 表彰



理事
橘高 義則 様
株式会社 博善



女性部会顧問
林 美智子 様
林産業 有限会社



理事
内海 和浩 様
株式会社 内海機械

府中税務署長 感謝状



理事
榊原 賢治 様
有限会社 榊原石油店



青年部会副部長
児玉 量 様
児玉建設 株式会社



税務署長挨拶



府中法人会 受章者一堂

提言活動

行動する法人会 — 令和5年度税制改正に関する提言 —

令和5年度税制改正スローガン

- ポストコロナの経済再生と財政健全化を目指し、**税財政改革の実現を!**
- 適正な負担と給付の重点化・効率化で、**持続可能な社会保障制度の確立を!**
- 厳しい経済環境を踏まえ、**中小企業の活性化に資する税制を!**
- 中小企業にとって事業承継は重要な課題。**本格的な事業承継税制の創設を!**

《税目別の具体的課題》

*《税目別の具体的課題》は見出しのみとしておりますので、全法連ホームページ「税の提言活動」の「令和5年度税制改正提言」をご確認下さい。

1. 法人税関係

- (1) 役員給与の損金算入の拡充
 - ①役員給与は損金算入とすべき
 - ②同族会社も業績連動給与の損金算入を認めるべき

2. 所得税関係

- (1) 所得税のあり方
 - ①基幹税としての財源調達機能の回復
 - ②各種控除制度の見直し
 - ③個人住民税の均等割
- (2) 少子化対策

3. 相続税・贈与税関係

4. 地方税関係

- (1) 固定資産税の抜本的見直し
- (2) 事業所税の廃止
- (3) 超過課税
- (4) 法定外目的税

5. その他

- (1) 配当に対する二重課税の見直し
- (2) 森林環境税
- (3) 電子申告



令和4年12月2日(金) 府中市長 小野申人氏・市議会議長 加藤吉秀氏に税制改正の提言書を手交しました。法人会から貝原潤司会長が小野申人市長へ小林聖司税制委員長が加藤吉秀市議会議長へ提言書手交しました。



府中市の実態を訪ね民間の課題を告げる。



令和4年12月13日(火) 神石高原町長 入江嘉則氏へ延岡博行常任理事が税制改正提言書を手交。法人会からは、美田雅彦理事・三上人士理事が参加



橋本輝久町議会議長へ三上人士理事が提言書手交

公益社団法人 府中法人会

支部・部会 税務研修会開催

令和4年10月18日から11月14日にかけて、(公社)府中法人会の7支部と3部会(国税局所管部会・青年部会・女性部会)が税務研修会を開催して延べ258名が参加しました。

各支部の研修内容は

講師 府中税務署長 田中 薫氏 演題 「よもやま話」

講師 府中税務署 法人課税部門 統括国税調査官 瀬良 智子氏 演題 「消費税・インボイス制度」「電子帳簿保存法のポイント」「令和4年度税制改正等について」

田中税務署長さんは、税務の固い話なので参加者にリラックスするように時折クイズを交えて緊張を解してくださいました。

神石高原支部では、地元神石高原町出身の成功者(株)SHIFT 代表取締役社長 丹下大 氏のとても素晴らしい講演を聴き参加者は目から鱗が落ちたようでした。

国税局所管部会 研修内容

演題 令和4年度税制改正等について

講師 広島国税局 調査査察部 調査管理課 総括主査 中川 佳宏 氏



国税局所管部会 北川 宏部会長挨拶



広島国税局 調査査察部長 松代 孝廣氏ご挨拶

府中法人会 国税局所管部会とは・・・
本部会の部会員は、資本金1億円以上、又は、これに準ずる法人の会員企業に属する



新市・芦田支部合同税務研修会



府中東西支部 税務研修会



上下支部 税務研修会



神石高原支部 (株)SHIFT 代表取締役社長 丹下 大氏講演



神石高原支部 税務研修会



駅家支部 税務研修会



青年部会・女性部会税務研修会

第38回法人会全国大会 (千葉大会)

令和4年10月13日(木) 全国大会(千葉大会)が千葉県千葉市美浜区の幕張メッセ 幕張イベントホールで開催されました。

本大会は、政府や開催地等のイベント開催に係る方針に基づき、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、式典では、税制改正提言の報告、租税教育活動の事例発表が行われ全国から1,900名が参加しました。



幕張イベントホール全国大会の様子



千葉県のマスコット チーバくん
左から 栗根副会長、貝原会長、田邊副会長

第36回法人会全国青年の集い (沖縄大会)

令和4年11月24日(木) 25日(金) 全国青年の集い(沖縄大会)が沖縄アリーナにて開催されました

【大会スローガン】

ゆいまーる
未来をまもり、拓く



左から杉本実行委員長、北川部会長、櫻木運営専務

ゆいまーるとは: 相互扶助、助け合いの心

地域や国の発展を担う子供たちの未来を守るため、国の財政破綻を回避すべく、私たち自らが先導者として能動的に明るい未来を切り拓いていくという覚悟を表現する。

租税教育活動と健康経営プロジェクト(各定員100名)に分かれて会員交流分科会が開催され、全国各地からの集う青年部会員が交流を図りつつ、お互いの悩みや成功事例を共有し、明日からの活動に繋がられる有意義な分科会となりました。

令和4年第4回(通算273回)大島能楽堂定期講演

法人会が小学校6年生を対象に能楽教室を指導いただいている、喜多流大島能楽堂の大島衣恵先生が出演される定期講演に女性部会が見学に行きました。

大変迫力のある能の舞を堪能しました。

演目 能 清経 松井 彬
狂言 茶壺 茂山 茂
能 雷電 大島 衣恵



租税教育活動

租税教室

【租税とは】

1租と税。年貢

2国または地方公共団体が、その経費に充てるために、法律に基づいて国民や住民から強制的に徴収する金銭。国税と地方税とがある。税。税金。

法人会では、次代を担う子供たちが、税の重要性を正しく理解し、関心を持てるよう、租税教育活動を行なっています。

税金がある世界と税金が無い世界を映像により比較する事により税金が何に使われていて、みんなの生活にどのように関わっているかを理解してもらっています。

最後に税金は、みんなが生活しやすいように、みんなが出し合って、みんなのために使うという意味で、「会費」のようなものとしてまとめます。



キミも納めてる！税金どこ行くの？

令和4年度 租税教室派遣講師

(敬称略 順不同)

学校名	講師名	会社名
府中市立旭小学校	河本 和 幸	河本工業(有)
神石高原町立来見小学校	佐々木 貴 規	佐々木林業(有)
府中市立上下南小学校	西 宮 晴 之	上下両備自動車(有)
府中市立国府小学校	宗 藤 正 典	(有)コトブキ印刷
府中市立栗生小学校	真 田 恭 行	(株)フォンス真田
神石高原町立油木小学校	佐々木 貴 規	佐々木林業(有)
府中市立府中学園 (前期)	北 川 浩 一 郎	(株)北川製作所
福山市立新市小学校	石 田 勝 昭	(株)たまや
府中市立府中明郷学園 (前期)	河 本 和 幸	河本工業(有)
府中市立上下中学校	前 原 正	紅菱電機(有)
神石高原町立三和中学校	佐々木 貴 規	佐々木林業(有)
神石高原町立神石高原中学校	佐々木 貴 規	佐々木林業(有)
福山市立新市中央中学校	下 川 高 広	富士スタジオ
	石 田 勝 昭	(株)たまや
	佐 藤 大 地	ユーセイ建設(株)

中学校

過去に出題された税金関係の高校入試問題をグループで協議をして回答、正解したグループに模擬紙幣を賞金として提供。

獲得した賞金の合計額を総所得額として確定申告をして、獲得賞金の中から納税をしてもらう方法。



神石高原町立神石高原中学校



府中市立府中学園 (前期)



府中市立府中明郷学園 (前期)

小学校

警察署・救急車・信号機・コンビニ・本屋・学校など身近にある施設等が描かれたマグネットを税金が使われているもの、使われていないものに区別し児童たちに思うままに黒板に貼ってもらい、答え合わせをする方法。



府中市立栗生小学校



府中市立国府小学校



神石高原町立来見小学校

令和4年度 租税教育推進校等・租税優秀作品表彰



税に関する中学生の標語

公益社団法人府中法人会 会長賞

府中市立府中学園 9年 栗根 遼実

『つくろうや

ゆたかな社会を 税金で』